

「からだ・あたま・こころ」
でわかる！ムーブメント！

～共に生きる、共に育み合う、そのための場を創る～
遊びの場づくりに役立つ「ムーブメント教育・療法」の理論と実践

特別支援教育の現場に役立つ具体的な支援法を学びたい方、幼児教育、保育の現場で遊びの活用を深めたい方、子育て支援やスポーツクラブなど地域での活動に専門的な知識を活かしたい方など、「ムーブメント教育・療法」の理論と実践方法を身につけたい方々を対象とした講座を用意しました。「明日からの実践」に直接つながるスキルアップの研修としても十分意義のある内容ですが、さらに、集ってくださった方々が共に、遊びの場づくりの意義や今後の課題などについて意見を交換し、「これからの夢」についても語り合い、意識を高め合う場を提供することも講座の目的としています。皆様のご参加をお待ちしております。



「ムーブメント教育・療法」とは・・・？

アメリカのMarianne Frostig とその協力者たちが、多年にわたる研究と実践を集大成し体系づけたものです。日本では、小林芳文博士を中心に各地で、乳幼児や障害のある子ども達、高齢者などを対象に展開されています。ムーブメント教育・療法は、対象者の自主性、自発性を尊重し、「動きたくなる環境」の中で、「からだ(動くこと)ーあたま(考えること)ーこころ(感じること)」の調和のとれた発達を図ります。訓練ではなく、楽しみながら体を動かすことで、運動機能、感覚機能を発達させていく方法で、音楽を使ったり、遊具を使ったり、様々な工夫が重ねられています。



- 日時: 2009年 7/19、9/12、10/17、11/14
全4回 13:30～17:00
- 場所: 和光大学キャンパス
(小田急線鶴川駅南口から徒歩約15分)
- 受講料: 各回1000円 * 定員: 40名
- 申込方法
電話、FAX、メールで、「ムーブメント」と明記し、氏名(フリガナ)、〒住所、電話番号、職業(所属)、参加する回数(第○回、全4回など)を添えて、各回1週間前までに企画広報係までお申し込みください。
【先着順・定員になり次第締め切り】

■ 問い合わせ・申し込み ■

和光大学 企画広報係

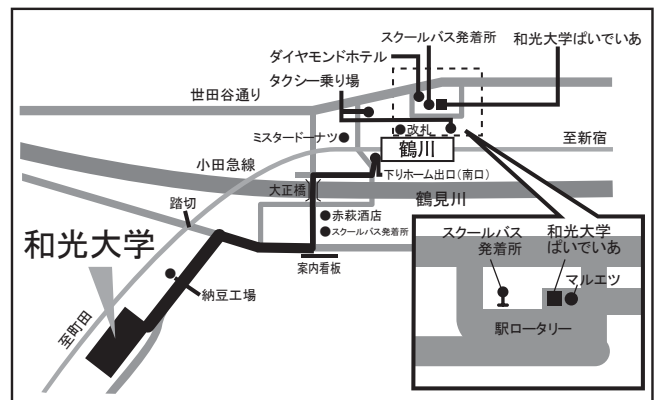
〒 195-8585 東京都町田市金井町 2160
Tel 044-988-1433 Fax 044-988-1594
メール open@wako.ac.jp

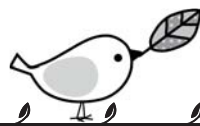


スクールバス時刻表

鶴川駅前発	大正橋発
12:30	12:50
13:15	※9/12(土)は大正橋発のバスはございません。

※日曜日は運休です。





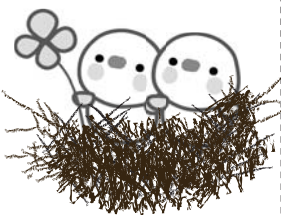
2009年7月19日(日) 第1回 『ムーブメント』って何?～遊びの場の魅力を知ろう!～

- * 教室体験 「親子で遊ぼう!和光ムーブメント教室
～海賊になって遊ぼう!～」を見学
- * 講義 小林芳文
「遊びの場の魅力
～ムーブメント教育・療法のこれまでと共生の時代に期待される役割～」
- * 実践解説 大橋さつき
「ムーブメント遊具の紹介とその活用法
～本日の公開教室プログラム解説を添えて～」

2009年10月17日(土) 第3回 家族を支え地域で育み合うためのムーブメントの活用

- * 講義 小林芳文
「家族支援・地域支援に活かすムーブメント
～アセスメント法MEPA-Rの活用を中心に～」
- * 報告 大橋さつき
「相模原市地域子育て支援事業親子ムーブメント教室の実践報告」
- * 報告 大崎恵子
「家族と地域をつなぐムーブメント～娘の笑顔と共に～」
- * 理論と実技 飯村敦子
「家庭でできる!地域で役立つ!音楽ムーブメントの基礎と応用」

各回、質疑応答とフリートーキングの時間を設けてあります。



2009年9月12日(土) 第2回 『がっこう』で、いま、ムーブメントにできること

- * 講義 小林芳文
「学校教育に活かすムーブメント
～特別支援教育・体育の現場での活用を中心に～」
- * 報告 小林丈記
「特別支援教育の方向性とその可能性を探る
～ムーブメントを通して、子ども達の自信や学びを育む～」
- * 理論と実技 上原淑枝
「国語も算数も楽しく学ぶ～教科学習に活かすムーブメント～」

2009年11月14日(土) 第4回 共に生きる場を創る ～ムーブメントの未来にむけて～

- * 講義 小林芳文
「個を活かし集団を育むムーブメントの場
～いま、あらためて、フロスティッグの理論を読み解く～」
- * 報告 小林保子
「遊びの活動を活かした乳幼児・障害児支援の実際
～町田・相模原地域の情報からアメリカの最新情報まで～」
- * 報告 和光大学「遊び種(あそびぐさ)～たんぼっぽ～」
「共に存在し合う場をつくるドラマ・ムーブメントの可能性
～和光ムーブメント教室の実践をもとに～」
- * 報告 野中浩一
「包括的共生概念構築の試みから見えてきた
『遊びの場づくり』の意義」
- * 実技 大橋さつき
「こころが踊る・からだ遊ぶ・みんなで創る!
～ダンスからドラマ・ファンタジーへ～」

監修・講師

小林芳文

和光大学現代人間学部教授。横浜国立大学名誉教授。NPO法人日本ムーブメント教育・療法協会会長。ムーブメント教育・療法の国内第一人者。著書に「フロスティッグのムーブメント教育・療法」など多数。

大橋さつき

和光大学現代人間学部准教授。ダンスやクリエイティブな活動を中心にムーブメントの実践を展開。著書に「特別支援教育・体育に活かすダンスムーブメント-『共創力』を育み合うムーブメント教育・療法の理論と実践-」。

小林丈記

海老名市杉久保小学校教諭。特別支援学級における領域・教科を合わせた支援及び交流及び共同学習、通常級で支援が必要な子ども達への関わりにムーブメントを活用。平成18年度文部科学大臣による優秀教員表彰を受ける。

上原淑枝

川崎市立百合丘小学校教諭。地域療育「スマイルキッズ」で月1回親子ムーブメントを展開中。特別支援教育の教科学習にムーブメントを活用。著書に「特別支援教育手帳にすぐに使える教材・教具集」、「続・特別支援教育手帳にすぐに使える教材・教具集」。

大崎恵子

ムーブメントサークル「アンダンテ」を設立し、地域に根づいたムーブメントの活動を展開中。娘友未佳さんとの記録をもとにした研究「家族支援に生かしたムーブメント法の活用事例—17年間に渡るMEPA-IIの記録を通して」(国際ムーブメント教育・療法学術研究センター研究論文)を発表。

飯村敦子

鎌倉女子大学教授。音楽ムーブメント、障害乳幼児の環境アセスメントの開発と家族支援を中心に研究実践活動を展開。著書に、「音楽・遊具を活用した自立活動(障害児教育の新領域—自立活動の計画と展開)」など。

小林保子

東京福祉大学短期大学部教授。重症心身障害児の家族支援におけるムーブメント教育・療法の活用について研究。町田市の特別支援学校や相模原市の療育施設で発達支援及び余暇支援の活動に長年関わる。

和光大学「遊び種(あそびぐさ)～たんぼっぽ～」

和光大生によるムーブメント研究グループ。自身が本気で楽しむことがムーブメントの環境づくりに大切なのではないかという視点から、ドラマムーブメントを実践中。

野中浩一

和光大学現代人間学部教授。学科長。2009年度和光大学教育重点充実事業「包括的共生概念の構築」(通称、Wプロジェクト)の代表。専門は、衛生学、胎児期環境学、双生児研究。